

【音楽】

# 音 楽

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	小学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱教材の扱いの具体例
		③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	リコーダーの扱いの具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例
		⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
		⑦ 題材や資料等の配列	表現領域における系統的な扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	① 題材や学習目標等の示し方
<b>方法</b>	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例	第3学年 旋律や変化等を扱った鑑賞の題材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標達成のための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名 「せんりつの流れとへん化」として、見開き左上に横書きで記載している。</li> <li>○ 学習目標 「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで表記され、「せんりつ」、「へん化」、「バイオリン」、の文言には色が付いている。</li> <li>○ 学習活動の見通しを示す文 見開き左側に「せんりつの流れやへん化に気づきながらきけるかな。」と縦書きで記載している。</li> <li>○ 児童の気づきを引き出す支援 「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と記載するとともに、旋律の流れや、手や体の動きの例がイラストで示している。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標達成のための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名 「曲のかんじを生かそう」として、見開き左側に縦書きで記載している。</li> <li>○ 学習目標 「曲のかんじを味わってききましょう」と横書きで表記している。</li> <li>○ 学習活動の見通しを示す文 見開き左側に「曲のかんじを味わってきいたり、曲のかんじを生かしてえんそうしたりすることができるかな。」と縦書きで記載している。</li> <li>○ 児童の気づきを引き出す支援 キャラクターの吹き出しの中に、「音楽に合わせて、主なせんりつの図形を指でたどったり、体を動かしたりしながらきいてもいいね。」と記載するとともに、旋律の流れをイラストで示している。また、感じたことや気づいたことを書き込める欄がある。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	歌唱教材の扱いの具体例

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の例	
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習目標</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を提示</li> <li>○ 1, 2番</li> <li>○ ♩=116 ぐらい</li> <li>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>に分かれ<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の部分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の写真を提示</li> <li style="padding-left: 20px;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おなかを使って歌おう</span></li> <li style="padding-left: 20px;">・ かたを楽にして, おなかに手を当てながら歌ってみよう。</li> <li style="padding-left: 20px;">・ 「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ, ポ, マなどの言葉で, 歌ってみよう。</li> </ul>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。」及び目標達成のための支援となる活動文を提示</li> <li>○ 1, 2, 3番</li> <li>○ ♩=116~126</li> <li>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>に分かれ<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>の部分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の絵を提示</li> <li style="padding-left: 20px;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歌声②</span></li> <li style="padding-left: 20px;">・ スタッカートのところは, わらったときのようなおなかの動きを感じて, 軽くはずむように歌いましょう。また, 言葉があいまいにならないように, はっきりと発音して歌いましょう。</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	リコーダーの扱いの具体例

第3学年及び第4学年におけるリコーダー学習の具体例		
教 出	○ リコーダー学習の導入 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く(5曲) →リコーダーの種類を知る(5種類)→楽器の構え方や持ち方を知る→「シ」の音をふく</li> </ul>
	○ 学習する音の順番	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年 「シ→ラ→ソ→<math>\overline{\text{ド}} \rightarrow \overline{\text{レ}} \rightarrow \text{ファ} \rightarrow \text{ミ} \rightarrow \text{レ}</math>」 第4学年 「<math>\overline{\text{ミ}} \rightarrow \text{ド} \rightarrow \# \text{ソ}</math>」</li> </ul>
	○ 指使いの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>階名, 五線譜, 吹き口を下側にした, 子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。</li> <li>第3学年で, 構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載している。</li> </ul>
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きなしゃぼん玉をつくるような息でふくよう説明している。</li> <li>第3学年の導入で, タンギングを「トゥ」「ル」と, また, 第4学年で高い音を吹くときには「ティ」と発音するように説明している。</li> <li>第4学年で, サミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。</li> </ul>
教 芸	○ リコーダー学習の導入 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く(2曲) →リコーダーの種類を知る(4種類)→楽器の構え方や持ち方・楽器の手入れの仕方を知る→「シ」の音をふく</li> </ul>
	○ 学習する音の順番	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年 「シ→ラ→ソ→<math>\overline{\text{ド}} \rightarrow \overline{\text{レ}} \rightarrow \text{ファ} \rightarrow \text{ミ} \rightarrow \text{レ} \rightarrow \text{ド}</math>」 第4学年 「<math>\overline{\text{ミ}} \rightarrow \overline{\text{ファ}} \rightarrow \text{ソ}</math>」</li> </ul>
	○ 指使いの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>階名, 五線譜, 吹き口を下側にした, 子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。</li> <li>「シ」「<math>\overline{\text{レ}}</math>」では, 構えた時の目線や横から見た写真を掲載している。</li> </ul>
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年の導入で, タンギングを「tu(トゥ)」とふいて, 「t」ととめるよう, また, 第4学年で, スタッカートで吹くときには「tu(t)(トゥッ)」, 高い音を吹くときには「ti(ティ)」と発音するように説明している。</li> <li>第4学年でサミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
<b>方法</b>	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例

	音楽づくりに関する学習過程等の示し方	第3学年及び第4学年における具体例
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ 音の様子を図形で表したカードの示し方</li> <li>○ 使用する楽器の例</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>「みんなで合わせて」(第3学年)</p> <p>学習目標「音のひびきや組み合わせを楽しもう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 楽きをえらぼう。</li> <li>2 楽きの音をたしかめよう。</li> <li>3 カードをえらんで、音で表してみよう。</li> <li>4 カードをつなげてえんそうしよう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6種類のカードを示している。</li> <li>○ 木製(3種類)、皮製(3種類)、金属製(3種類)</li> <li>○ 「打ち方を変えたり、ばちを変えたりして、どんな音が出るかためしてみよう。」と示し、児童の吹き出しの中で次のように示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カスタネットで音を長くひびかせるのはむずかしいね。</li> <li>・ トライアングルで短く音を切るには、どうしたらいいかな。</li> <li>・ 音の強さをかえることはできるかな。</li> <li>・ 打つところやばちによって、音色が変わるね。</li> </ul> </li> </ul>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ 音の様子を図形で表したカードの示し方</li> <li>○ 使用する楽器の例</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」(第4学年)</p> <p>学習目標「音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いろいろな楽器を使って、鳴らし方をくふうしながら、ア～エのカードの図形を音で表しましょう。</li> <li>2 3人の組になり、音のひびき合いをたしかめながら、組み合わせる楽器をえらびましょう。</li> <li>3 下の例を参考にして、ア～エの4種類のカードをすべて使って、音楽をつくりましょう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4種類のカードを示している。</li> <li>○ 皮製(4種類)、金属製(3種類)、木製(3種類)</li> <li>○ 児童の吹き出しの中で、「・と●では、打つ位置を変えて、音の高さをくふうしてみようかな。」「細かく打ちながらだんだん強くしていこうかな。それとも、ふりながらだんだん強くしていこうかな。」「金属でできている楽器を組み合わせました。」「皮がはってある楽器と木でできている楽器を組み合わせました。」「それぞれの楽器の音がよくきこえるように、1人ずつ順に鳴らしました。」「クラベスが目立つように、他の楽器とちがうカードをえらびました。」と示している。</li> </ul>

【音楽】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
<b>方法</b>	音や音楽と生活との関わりについての記述

音や音楽と生活との関わりについての記述	
<b>教出</b>	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 おとのスケッチ：「ことばのリズムであそぼう」</p> <p>第2学年 音のスケッチ：「どんな音がきこえるかな」 題材：「おまつりの音楽」</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんして遊ぼう」 題材：「遊び歌めぐり」</p> <p>第4学年 巻頭：「あなたの声は世界にただひとつ」 題材：「音楽今昔」 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「音楽の旅」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 コーナー：「音楽にできること」 歌唱教材との関わり：「海を思う心」</p>
<b>教芸</b>	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 題材：「みのまわりのおとにみみをすまそう」</p> <p>第2学年 題材：「音楽でみんなとつながろう」 題材：「せいかつの中にある音を楽しもう」</p> <p>第3学年 鑑賞教材との関わり：「神田囃子ほぞん会立野喜久雄さんのお話」</p> <p>第4学年 歌唱及び鑑賞教材との関わり：「越中五箇山こきりこう たほぞん会の岩崎喜平 さんにインタビュー」</p> <p>第5学年 巻頭：「表現するときに大切なこと」 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦楽団 バイオリン奏者神谷未穂さんのお話」</p> <p>第6学年 巻頭：「時代をこえて受けつぐ歌舞伎のこころ」 特集：「音の働きや役割について考えよう」 特集：「音楽が人と人をつなぐ」 歌唱教材との関わり：「あすという日が」</p>

【音楽】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
<b>方法</b>	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材

		学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
教 出	1	鑑賞曲	・ わらべうた（「おちゃらか」、「なべなべ」）
		歌唱教材	・ 共通教材：「ひらいたひらいた」、「かたつむり」、「うみ」、「ひのまる」 ・ きせつのうた：「たなばたさま」、「たきび」、「おしょうがつ」、「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・ 日本のたいこ：（「つがるじょっぱりだいこ」、「さんきおどりのたいこ」、「ごじんじょだいこ」、「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・ たいこ
		歌唱教材	・ 共通教材：「かくれんぼ」、「虫の声」、「夕やけこやけ」、「春がきた」 ・ しぜんのうた：「つき」、「とんぼのめがね」、「雪」
	3	鑑賞曲	・ 日本や世界の子ども歌（「十五夜さんのもちつき」）
		歌唱教材	・ 共通教材：「春の小川」、「茶つみ」、「うさぎ」、「ふじ山」 ・ こころのうた：「あの町この町」、「七つの子」、「まっかな秋」
	4	鑑賞曲	・ 「さくら変そう曲」 ・ 「ソーラン節」 ・ 「秩父屋台ばやし」 ・ 「葛西ばやし」
		和楽器	・ こと ・ 大だいこ ・ しめだいこ ・ かね ・ こと ・ ふえ ・ おおどう ・ つけだいこ
		歌唱教材	・ 共通教材：「さくらさくら」、「まきばの朝」、「とんび」、「もみじ」 ・ きせつのうた：「どこかで春が」、「みかんの花さくおか」、「里の秋」
	5	鑑賞曲	・ 「会津磐梯山」 ・ 「音頭の舟歌」 ・ 「長唄『越後獅子』から」 ・ 「京の夜」
		和楽器	・ しの笛 ・ こきりこ ・ 三線
		歌唱教材	・ 共通教材：「こいのぼり」、「子もり歌」、「冬げしき」、「スキーの歌」 ・ 「赤とんぼ」 ・ 「こきりこ節」 ・ 「谷茶前」 ・ 山田耕筰、中田喜直のうた：「ペチカ」、「待ちぼうけ」、「星とたんぼぼ」、 「ちいさい秋みつけた」
	6	鑑賞曲	「春の海」
		和楽器	・ こと ・ 尺八 ・ 三味線 ・ 雅楽の楽器（ふき物、ひき物、打ち物）
		歌唱教材	・ 共通教材：「おぼろ月夜」、「われは海の子」、「越天楽今様」、「ふるさと」 ・ 滝廉太郎のうた：「荒城の月」、「箱根八里」

【音楽】

	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材	
教 芸	1	鑑賞曲	・「さんちゃんが」, 「おおなみこなみ」
		歌唱教材	・共通教材: 「ひらいたひらいた」, 「かたつむり」, 「うみ」, 「ひのまる」 ・「おちゃらかほい」 ・うたいつごうにほんのうた: 「たなばたさま」, 「おしょうがつ」, 「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・「ずいずいずっころばし」 ・「あんたがたどこさ」 ・「なべなべそこぬけ」
		歌唱教材	・共通教材: 「かくれんぼ」, 「虫のこえ」, 「夕やけこやけ」, 「はるがきた」 ・うたいつごう日本のうた: 「夕日」, 「とんぼのめがね」, 「シャボン玉」
	3	鑑賞曲	・「祇園囃子」 ・「ねぶた囃子」 ・「神田囃子『投げ合い』」
		和楽器	・長胴だいこ ・しめだいこ ・かね ・しのぶえ
		歌唱教材	・共通教材: 「春の小川」, 「茶つみ」, 「うさぎ」, 「ふじ山」 ・歌いつごう日本の歌: 「ゆりかごの歌」, 「七つの子」, 「どこかで春が」
	4	鑑賞曲	・「こきりこ」 ・「ことの独奏による主題と6つの変奏『さくら』より」 ・「津軽じょんから節」 ・「ていんさぐぬ花」
		和楽器	・こきりこ ・びんざさら ・たいこ ・ふえ ・ぼうささら ・くわがね ・つづみ ・こと ・三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材: 「さくらさくら」, 「まきばの朝」, 「とんび」, 「もみじ」 ・歌いつごう日本の歌: 「みかんの花さくおか」, 「せいくらべ」, 「みどりのそよ風」
	5	鑑賞曲	・「春の海」 ・「ソーラン節」 ・「かりぼし切り歌」 ・「待ちぼうけ」 ・「赤とんぼ」 ・「この道」
		和楽器	・こと ・尺八
		歌唱教材	・共通教材: 「こいのぼり」, 「冬げしき」, 「スキーの歌」, 「子もり歌」 ・歌いつごう日本の歌: 「ちいさい秋みつけた」, 「海」
	6	鑑賞曲	・「花」 ・「箱根八里」 ・「荒城の月」 ・雅楽「越天楽」
		和楽器	・笛 ・小鼓 ・大鼓 ・太鼓 ・太棹三味線 ・細竿三味線 ・三線
		歌唱教材	・共通教材: 「おぼろ月夜」, 「われは海の子」, 「越天楽今様」, 「ふるさと」



【音楽】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦題材や資料等の配列
<b>方法</b>	表現領域における系統的な扱い

		表現領域における系統的な扱い	楽曲名及び楽器名
<b>教 出</b>	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第2学年：「春がきた」、「ラララ歌おう」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」 第6学年：「ロックマイソウル」</li> </ul>
	器楽・音楽づくり	○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器	第1学年：タン布林、すず、カスタネット、けんぼんハーモニカ、ハーモニカ、トライアングル、おおいこ、こだいこ、てっきん、もっきん 第2学年：ウッドブロック、ギロ、グロッケン、ビブラフォン、シンバル、マリンバ、オルガン 第3学年：リコーダー、カウベル、クラベス 第4学年：しめだいこ、大だいこ、かね、シェーカー、アゴゴ、フロアトム、こと、ボンゴ 第5学年：しの笛
	器楽	○ 合奏曲の配列	第2学年：「汽車は 走る」、「チャチャ マンボ」、「アンダルコの歌」 第3学年：「せいじゃの行進」、「パフ」、「ミッキーマウスマーチ」 第4学年：「ラ クンパルシータ」、「魔法のすず」 第5学年：「茶色の小びん」、「風とケーナのロマンス」、「ルパン三世のテーマ」、「ゴジラ」 第6学年：「マルセリーノの歌」、「カノン」、「L - 0 - V - E」、「八木節」
<b>教 芸</b>	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第3学年：「歌おう声高く」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」、「A Good day」 第6学年：「星の世界」、「ふるさと」</li> </ul>
	器楽・音楽づくり	○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器	第1学年：カスタネット、タン布林、けんぼんハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、てっきん 第2学年：クラベス、小だいこ、大だいこ、オルガン、木きん、てっきん、キーボード 第3学年：リコーダー、しめだいこ、長胴だいこ、トライアングル、ギロ、シンバル、ウィンドチャイム 第4学年：マラカス、こと、コンガ、ボンゴ 第5学年：カバサ、サスペンデッドシンバル、カウベル、アゴゴ
	器楽	○ 合奏曲の配列	第1学年：「こいぬのマーチ」 第2学年：「こぐまの 二月」、「アイアイ」 第3学年：「ゆかいな木きん」、「パフ」、「エーデルワイス」、「ミッキーマウス マーチ」 第4学年：「茶色の小びん」、「ジッパ ディー ドウー ダー」、「スーパーカリフラジリスティックエクスピアドーシャス」 第5学年：「リボンのおどり」、「キリマンジャロ」、「威風堂々」、「アフリカンシンフォニー」 第6学年：「ラバーズ コンチェルト」、「雨のうた」、「風を切って」、「木星」、「コンドルは飛んで行く」

<b>観点</b>	<b>(工) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
<b>方法</b>	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫	
<b>教 出</b>	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄がある。</p> <p>○ 〔共通事項〕の内容を、巻末の『音楽のもと』まとめに掲載している。</p>
	<p>○ 体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ 歌唱「ふじ山」(第3学年)</p> <p>・ 「せんりつのリズムを手で打つなどして、♪♪♪のリズムで始まるだとそうでないだんを見つけよう。」 「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」と示している。</p> <p>○ 鑑賞「バイオリンとピアノのためのソナタ (第4楽章)」(第6学年)</p> <p>・ 「まず、せん律の流れに合わせて手などを動かしたり、楽器のひきまねをしたりしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。」 「楽器を決めてひきまねをしたりしながら、曲全体をきいてみよう。」と示している。</p>
<b>教 芸</b>	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 見開き右ページ下に示している。</p> <p>○ 巻末の「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素が、関連するページ番号とともに記載している。</p>
	<p>○ 体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ 歌唱「ふじ山」(第3学年)</p> <p>・ 「せんりつを指でたどりながら『ふじ山』を歌って、音の上がり下がりをかんじとりましょう。」と示され、児童の吹き出しの中で「いちばん高い音はどこにあるかな。」と示している。</p> <p>○ 鑑賞「ハンガリー舞曲第5番」(第6学年)</p> <p>・ 「音楽に合わせて、体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきいて、速さや強さについて気付いたことや感じたことを話し合ひましょう。」と示している。</p>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
<b>方法</b>	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
<b>教出</b>	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・ 実際に歌って音楽表現を高めていく場面の設定</li> </ul>	<p>「演奏のみりよく」（第6学年）</p> <p>学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」</p> <p>教材曲「ぼくらの日々」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習過程が①～⑤で示され、①「どんな曲かな？曲のみりよくを見つけよう。」の中で「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示されている。⑤「自分たちの表現をめざそう。」では、「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、『もっとこうしたいな』と思うところを話し合おう。」と示している。</li> <li>・ 学習過程⑤「自分たちの表現をめざそう。」において、「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろ試してみよう。」&lt;例&gt;「パートどうしの音量のバランスなど」と示している。</li> </ul>
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・ 視点をもって再度音楽を聴く場面の設定</li> </ul>	<p>「ききどころを見つけて」（第4学年）</p> <p>学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p> <p>教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示している。</li> <li>・ きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表がある。</li> <li>・ 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。</li> </ul>
<b>教芸</b>	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・ 実際に歌って音楽表現を高めていく場面の設定</li> </ul>	<p>「詩と音楽の関わりを味わおう」（第6学年）</p> <p>学習目標「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」</p> <p>教材曲「ふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歌詞や曲の特徴について話し合いましょう。」「『ふるさと』をどのように歌いたいかを考えて、発表し合いましょう。」と示している。</li> <li>・ 「工夫したい点をまとめたら、たがいの歌声をよくきき合いながら合唱しましょう。」と示している。</li> </ul>
	教芸		

【音楽】

鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・ 視点をもって再度音楽を聴く場面の設定</li> </ul>	<p>「曲のかんじを生かそう」（第3学年）</p> <p>学習目標「曲のかんじを味わってききましょう。」</p> <p>教材曲「メヌエット」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のかんじのちがいに気をつけてききましょう。</li> <li>・ 「<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のせんりつをきいて、かんじたことと気づいたことをまとめましょう。」と示し、かんじたことと気づいたことを書くための表を掲載している。</li> <li>・ 「まとめたことをふりかえりながら、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>の曲のまともに気をつけてききましょう。」と示している。</li> </ul>
----	--	---